

唐津コスメティック構想ミニ講座 ②国際取引の拡大

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。
コロナ禍^かを乗り越え、海外コスメの集積地との連携・交流が再び動き出しています！

●JCCとIBITA^{イビタ}※との協力連携がスタート！

☎ 企業立地課(☎53-7148)

2月17日、唐津コスメパーク(浜玉町浜崎)で、JCCと韓国の化粧品産業団体「国際ビューティー産業貿易協会(IBITA)」との、相互の輸出入の促進やビジネスマッチングにおける連携などの推進を目的とした、協力連携協定が締結されました。この協定により、商談会・展示会出展による日韓ビジネス機会の拡大や海外企業の誘致、国内企業との協業による対日投資の促進などが期待されます。

JCCではコスメ構想の柱のひとつである「国際取引の拡大」に向けて海外化粧品産業団体との提携を進めていて、今回の締結はフランス、イタリア、スペイン、台湾、タイに続き6例目となりました。



↑調印式の様子(左: IBITAのユン会長 右: JCCの山崎^{やまさき}会長)

※韓国全域に化粧品産業のネットワークを持つ非営利法人。会員企業は700社以上。

また、2月6日に台湾で行われた佐賀県総合プロモーションでのPRレセプションにも出展し佐賀県産コスメをアピールするなど、海外への発信・交流に取り組んでいます。

唐津コスメティック構想ミニ講座 ②ニューオープン工場、お披露目！

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

2月25日、誘致企業である本州印刷(株)の唐津工場オープンを記念して、竣工式^{しゅんこうしき}が行われました。唐津工場は県内初の、化粧品などのパッケージ印刷・製造から化粧品などの製品の充填・セットアップ^{レイメックス}※¹やシュリンク^{しゅんこうしき}※²までを一貫して行える工場です。これまでの紙・プラスチックに代わる新素材LIMEX^{ライメックス}※³の採用や太陽光パネルを設置されるなどSDGsに配慮した取り組みも積極的に行われています。コスメ関連企業が集積する唐津コスメパーク(浜玉町浜崎)に進出されたことで、本市のコスメサプライチェーンに不足していた「化粧品パッケージ印刷分野」が補完されました。

これから、唐津のコスメ産業や地域社会への貢献、経済の発展に寄与していただけるものと期待しています。

※1…箱を組み立て、製品を入れる作業

※2…フィルムに熱を加えて収縮させ、容器に密着させるラベル包装

※3…日本での自給率がほぼ100%の石灰石を主原料とする、リサイクル可能で持続可能な新素材

☎ 企業立地課(☎53-7148)



↑竣工式の様子



↑オープニングセレモニーでのテープカット



↑工場見学の様子

唐津コスメティック構想ミニ講座 ②②ファンミーティング開催！

問 企業立地課
(☎53-7148)

唐津・玄海地域を中心に、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。全国に向けて「唐津コスメ」のPRを行っています。

●唐津市×みんなとチョイス 「唐津コスメ」ファンミーティング開催！

4月22日に東京都内で、加唐島^{かからじま}の椿油^{つばきあぶら}を使用したコスメづくりイベントを開催しました。

集まった約20人の参加者に、唐津やコスメ構想、地産コスメ商品(ふるさと寄附返礼品)などのPRを行い、また市内の女性起業家を講師に招いて、椿油を使用したバーム※づくりを体験してもらいました。

ワークショップでは、椿油を入れたルイボスティーの試飲など、椿油をさまざまな方法で体感しながら椿油やコスメ、唐津の魅力について熱心な意見交換が行われました。参加した人の中には、楽しそうにSNSにアップするなど、首都圏でも唐津コスメファンが増えることが期待されます。



↑コスメ構想PRの様子



↑バームづくり体験の様子



↑地産コスメ商品
(ふるさと寄附返礼品) PR

※バーム・・・保湿や保護を目的とした化粧品

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

昨年好評だった市内の化粧品製造企業によるミカンの花摘み体験が今年も開催されました。

●華やかな香りに癒された花摘み体験!

5月3日に市内の無農薬(未利用)のミカン畑で、化粧品の原料になるミカンの花摘み体験が行われました。

今年は、高校生を中心に子どもや地域住民など合わせて40人ほどが参加し、華やかな香りに包まれながら約30kgの花を摘み取りました。摘み取ったミカンの花は、市内の化粧品工場で化粧品の原料として使われます。

1年のうちわずか数日間しか収穫できない貴重なミカンの花摘み体験をとおして、関係者との交流が行われるなど、唐津の農産物やコスメ産業などの地域産業を知ってもらうよい機会になりました。これからも、皆さんがコスメを身近に感じられる場や情報を発信していきます。



←摘み取ったたくさんのミカンの花



↑自然の恵みをたくさん受けたミカンの花



↑さあ!花摘み体験!
ミカンの花のさわやかで華やかな香りが広がります!

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

食品には賞味期限や消費期限がありますが、化粧品にも使用期限(目安)があるのはご存じですか？

●化粧品の使用期限は？

化粧品のパッケージには、成分や内容量、製造番号などさまざまな記載がありますが、実は使用期限や製造年月日についての記載はほとんどありません。薬機法※で、適切な保存条件のもとで製造後3年を超えて品質が保たれる商品については、使用期限や製造日の表示義務はないとされているからです。

化粧品は基本的に未開封であれば「3年以上」品質が保たれるものがほとんどなので、使用期限や製造日が記載されていない製品が必然的に多いというわけです。しかし、開封した場合は、空気に触れて酸化し、細菌が繁殖することから「長くても1年」といわれています。

このため、化粧品の使用期限の一般的な目安としては、未開封で3年、開封後で3か月～1年といわれています。目安ですので、この期間を経過したからといって化粧品が急に劣化することはありませんが、化粧品の効果を保つためにも、なるべく早く使いきるか、長期使用の場合は直接日が当たる場所や高温多湿、温度変化の激しい場所に保管しないようにしましょう。

●開封した化粧品の使用期限の目安

3か月以内：化粧水、マスカラなど 6か月以内：日焼け止めや口紅など

1年以内：パウダーファンデーションなど

※薬機法…医薬品、化粧品などの製造や販売などについて定めている法律



唐津コスメティック構想ミニ講座 ②⑤美と健康に関するイベント開催

問 企業立地課
(☎53-7148)

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

今回は、9月17日(日)に開催される美と健康に関するイベントについてお届けします。

●「唐津ヨガフェス2023」

ヨガをとおして美と健康への意識を高めるとともに、「美しいまち 唐津」を一人でも多くの市民に体感してもらうことを目的に開催されてきたイベント「唐津ヨガフェス」。今年度の「唐津ヨガフェス2023」では『音楽とヨガとコスメ』として市も共催し、市役所本庁6階屋上テラスで開催します。唐津のきれいな景色を見ながら美と健康を体感してみませんか？

◆音楽とヨガとコスメ

唐津を拠点に長年活躍されている歌手とヨガ講師による奇跡のコラボ。唐津コスメのアロマの香りが漂います。

と き 18:00～19:30(開場 17:30)

ところ 市役所本庁6階 屋上テラス

参加料 無料

申し込み 唐津ヨガフェス2023実行委員会

◆地産コスメ関連商品展示会(市ブース出展)

唐津産原料を使用したコスメや健康食品などを展示します。

と き 16:00～19:30

ところ 市役所本庁6階 自販機コーナーの近く



申し込み・問い合わせはこちらから↑



美容・健康成分を手軽に
チャージできる無添加のお酢
ドリンクの試飲もあります！

唐津コスメティック構想ミニ講座 ②⑥産業人材の育成

☎ 企業立地課 (☎53-7148)

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

今回は、コスメビジネスなど地域の産業の未来を担う人材の育成についてご紹介します。これらの取り組みにより県内で、コスメ業界に関心を抱く学生がますます増えていくことが期待されます。

●高校生による市の取り組みについてのフィールドワーク

令和5年7月、唐津西高等学校1年生が「総合的な探求の時間」の授業で市役所を訪れて、市が取り組んでいる「唐津コスメティック構想」と「市の観光」について、フィールドワーク(実地調査)を行いました。市職員から説明を受けた生徒は「フランスの化粧品メーカーのコスメティック構想提案者は、なぜ唐津を選んだのか」「企業を誘致するときは、景観を守るためにどういうことに気を付けているか」など、活発な質問がありました。



●学生向けコスメセミナー ～コスメ業界への道筋～

令和5年8月、佐賀県主催で学生や保護者を対象としたコスメセミナーがオンラインで開催されました。当日は、高校生を中心に県内外から80人を超える参加があり、コスメ研究の第一人者の佐賀大学特任教授やコスメ企業で活躍している人々を招いて、コスメ業界の仕事のおもしろさや学生時代にやるべきことなどについての講演がありました。講演後には「業界で活躍している人はどんな人が多いのか」「理系の勉強を頑張った方がよいのか」など、チャットによりさまざまな質問や意見が飛び交いました。



唐津コスメティック構想ミニ講座②⑦ ^{ていしよく}コスメ原料開発プロジェクト①定植始めました！

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

今回は、人気コスメブランド「THREE」^{スリー}とのコスメ原料開発プロジェクトについてお届けします。

●定植始めました！

市は佐賀県、玄海町、JCCとともに、人気コスメブランド「THREE」を手がける株^{アフロ}ACRO(ポーラ・オルビスグループ／東京都品川区)と連携し、耕作放棄地活用を目的とするコスメ原料の開発プロジェクトをスタートしています。8月から9月にかけて、鎮西町^{やとこ}八床地区の耕作放棄地に、コスメ原料として希少価値の^{うね}高いハーブの定植を始めました。定植前には、耕うん、土壌の分析、肥料の投入、畝たてなどさまざまな工程が必要ですが、地元農家の皆さんの協力で、スムーズに定植作業を行うことができました。今後もコスメ原料となる植物を定植して事業を拡大させていく予定です。

問 企業立地課 (☎53-7148)



↑畑の手入れ前の様子



↑地元の農家にコツを教わりながら植えました



↑すくすく育ってくれることを願っています！

唐津コスメティック構想ミニ講座②

SAGAn BEAUTY WEEKEND 2023

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。県内に向けたPRを行いました。

●SAGAn BEAUTY WEEKEND 2023開催！

10月21日、JONAI NORTH(佐賀市)にて、美と健康のイベント「SAGAn BEAUTY WEEKEND 2023」が開催されました。今年は『サステナブル』や『自分らしさ』をテーマにコスメの「ミライ」を考えるイベントとして、昨年に引き続き「佐賀さいこうフェス」との同時開催で行われ、県内はもとより他県からも多くの方が来場しにぎわいました。

会場では、コスメロス協会代表のイガリシノブさんを招いて、余ったコスメなどの復活法や活用法を伝授するトークショーや、県内企業のコスメに触れられるマルシェ、県産アロマを使ったコスメづくりや肌の状態の測定体験などのキレイを応援するワークショップが開催されました。参加者の中には熱心に耳を傾けたり、メモをとったりする人や、マルシェで出店企業と交流する人の姿も見受けられたりと、コスメのミライが輝くイベントとなりました。

問 企業立地課 (☎53-7148)



余ったコスメで描かれました！↑



↑ブースには県内産のコスメがたくさん



↑天候にも恵まれ、にぎわいました

唐津コスメティック構想ミニ講座② JCC設立10周年記念式典開催

問 企業立地課
(☎53-7148)

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。その推進母体である、民間企業・大学・行政などで構成された産学官連携組織「一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター(JCC)」が設立10周年を迎えました！

●JCC10周年記念式典開催！

令和5年11月10日、JCC設立10周年記念式典が市内で開催されました。当日は、JCC会員企業や、協力連携協定を締結したフランス・イタリア・台湾・タイ・韓国の5つの海外コスメクラスター(化粧品関連企業の集積地)代表など100人以上の関係者が参加しました。

式典では、これまでのJCCのあゆみを振り返りながら、JCC役員のあいさつやビデオレター、海外コスメクラスターのプレゼンテーション、基調講演などが行われ、会場はおおいに盛り上がりしました。また、会場のロビーには唐津産の素材を使用した、たくさんの化粧品が展示され、来場者はテスターを手にとって商品の良さを実感していました。

これからもJCCや関連団体と連携し、地域資源を生かした経済活動の活性化と雇用の創出を目指した取り組みを進めていきます。



↑会長あいさつ



↑たくさんの関係者に唐津産コスメの良さを知ってもらえました



↑このほかにも化粧品がたくさん展示されました！

唐津コスメティック構想ミニ講座 ③⑩コスメ原材料開発プロジェクト②ハーブ成長

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

市は佐賀県、玄海町、JCCとともに、人気コスメブランド「THREE」を手がける(株)ACRO(ポーラ・オルビスグループ／東京都品川区)と連携して、耕作放棄地活用を目的にコスメ原料の開発プロジェクトを行っています。今回は、定植したハーブの成長記録と佐賀大学でのコスメ産業学の講話の様子をお届けします。

●ハーブ成長中です！

☎ 企業立地課(☎53-7148)

令和5年8月から鎮西町八床地区で、コスメ原料としての希少価値が高いハーブを栽培しています。定植前は耕うん、肥料の投入などのほか、定植後は太陽光を遮断して雑草の成長を防ぐ防草シートを使用したり、降雪時には防寒対策として袋をかぶせたりするなど、地元農家の皆さんの知識とご尽力で、最初の収穫に向けて1本1本順調に成長しています。今後もコスメ原料となる植物を育成して事業を拡大させていく予定です。



このプロジェクトの一環で、令和5年11月に(株)ACROが佐賀大学のコスメ産業学で講話を行いました。コスメ業界の仕事や裏話を聴講したり、蒸留器を使ってラベンダーの花から抽出した香り成分を比較したりするなど、受講した学生らは、熱心に耳を傾け、質問していました。